

## F I J 月次活動レポート（2021年1月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
1月の活動をご報告させていただきます。

▶FIJは昨年11月に「教育プロジェクト」を立ち上げました。12月から1月にかけて、ファクトチェックとは何か、チェック対象は何かといった基礎的な内容をわかりやすく伝える動画の制作に取り組みました。今後さらに、取材のルール・記事の作り方といったより専門的な内容のものなど複数の動画を制作し、広くご覧いただけますようYouTube等で順次公開の予定です。

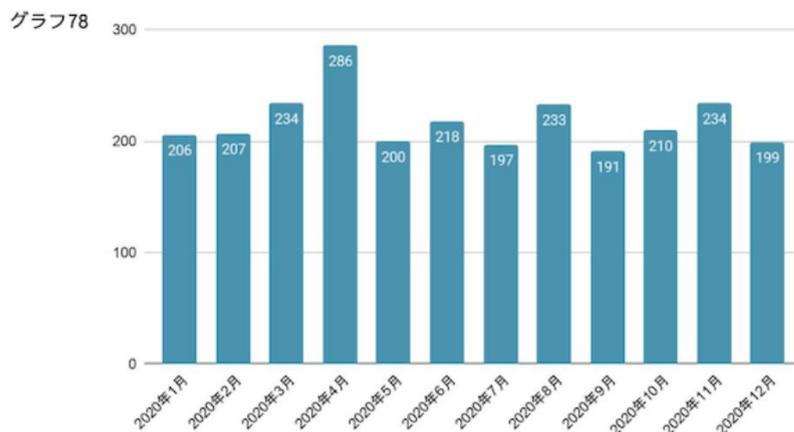
▶シエンプレ デジタル・クライシス総合研究所が、2020年のデジタル・クライシス（ソーシャルメディアを中心としたネット上で発生した危機や重大なトラブル）を調査・分析した「デジタル・クライシス白書2021」を1月20日に発表、FIJはこれに疑義言説件数データの提供などの面で協力しました。

同研究所はFIJのメディアパートナーであるシエンプレ株式会社が設置した研究機関です。

FIJ公式サイトでご案内しました。 <https://fij.info/archives/8671>

### 1. 疑義言説の件数

2020年に発生した疑義言説は合計で2,615件であり、1日平均7.2件発生していることが分かった。最も件数が多いのは4月で286件、2番目が3月234件と11月234件という結果であった。（「ClaimMonitor2」内に存在する件数をカウントしているものであり、すべての疑義言説を網羅しているわけではない）



デジタル・クライシス白書2021より

▶KDDI株式会社が運営する情報サイト「TIME&SPACE」で、FIJの取り組みと、楊井人文事務局長のコメントが掲載されました。

「フェイクニュースにだまされるな！『ファクトチェック』で安心・安全なデジタル社会へ」と題したこの記事では、市民とファクトチェッカーをつなぐ支援活動や、公益財団法人KDDI財団の助成を受けて開発したウェブアプリ「ファクトチェック・ナビ」などを通じてファクトチェックの担い手を広げる取り組みが紹介されています。

FIJ公式サイトでご案内しました。 <https://fij.info/archives/8668>



引き続きご注目・ご支援のほどなにとぞ宜しくお願い申し上げます。

